

## 鴨川市教育委員会 11月定例会会議録

- 1 日 時 平成24年11月21日(水) 開会 午後1時15分  
閉会 午後2時10分
- 2 場 所 天津小湊支所2階会議室
- 3 出席委員 (1) 佐々木久之 (2) 根本新太郎 (3) 佐久間秀子  
(4) 村上 修平 (5) 野田 純
- 4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典  
(4) 原 一郎 (5) 小倉 茂

### 5 委員報告

- ・ 佐久間委員から、曾呂小学校と江見小学校と長狭学園の学校訪問に参加したことについて、曾呂小学校では少人数の長短はあるがその中で子ども一人ひとりを伸ばすよう頑張っていること、とても明るい雰囲気で感心したこと、江見小学校は子ども達が授業に前向きで集中していたこと、発表に対してキャッチボールが行かない様子だったこと、「付け加えます」「賛成です」「それで」とかという言葉が付け加わるとよい授業になると思ったこと、絨毯等の痛みがひどく、校舎がかなり古いと感じたこと、長狭学園では1年から9年までそれぞれの学年がよい授業をしていたこと、新校舎がとても暖かくコンクリート部分との温度差がかなりあったこと、学校要覧をみると学年30人以上の学年が6学年あり、そういう学級ではディベートもできるし、コの字型のグループ学習もできるので良いこと、この良さを保護者の方が感じてほしいと思ったこと、東京スカイツリー等の教育委員研修視察では、すばらしい眺めであったこと、一度入ってみたいと思っていたのでよかったこと、日程の関係で国立博物館に時間を割いてほしかったこと、国立博物館では、高円宮殿下の根付けコレクションに高価な宝石が使われていて驚いたこと、池大雅の書がすごく温かくて印象に残っている作品であったこと、鋸南中学校区公開研究会の講師はすごかったこと、挫折を乗り越えた話に感動したこと、鴨川市でも素晴らしい講師を呼んでいるが参考にしてほしい、等について報告がなされた。
- ・ 村上委員から、曾呂小と江見小、長狭学園の学校訪問に参加したこと、曾呂小と江見小は小規模の学校で温かくてほんわかした学校であったこと、長狭学園も統合する前は同じような雰囲気でしたが、統合した長狭学園は活気があり、やはり統合してよかったと改めて思ったこと、やはりこのような環境を整えてあげることが私たちの使命ではないかと思ったこと、安房地区教育委員研修会では東京スカイツリー

を見学したこと、東京タワーとはまったく違う構造となっており、その基本は五重塔という日本の伝統建築の構造が生かされており、東日本大震災にも耐えることができたこと、国立博物館の国宝や重要文化財の常設展示を見られたこと、書道では弘法大師空海の作品があり、罫線がなくても少しのぶれもなく一文字一文字が正確に書かれていたこと、国宝や重要文化財というだけに作品が素晴らしく感じたこと、等について報告がなされた。

- ・ 根本委員から、安房地区教育委員研修会では東京スカイツリー等を見学したこと、東京スカイツリーについては造っているときに周辺を見たときはもっと活気があったが、完成した後に見た今回は、平日だったこともあり人通りのない周辺もあり寂しく感じたこと、国立博物館では本物が見られたこと、学校でも子どもたちに本物を見せることが大切と感じたこと、本物を見せることによって目が肥え、感覚が磨かれ、大人になっても役立つと思ったこと、江見小では施設の老朽化を感じたこと、鋸南中学校区の公開では子ども達だけでなく先生方の質が高かったこと、発言も活発であったこと、このときの講演で世界的に有名なダンサーの話が聞けたこと、夢を持ってという話をされていたこと、郷土愛や命の大切さをテーマにした授業では、地域のいろいろな方が講師になっていたこと、子どもたちにとっては年の若い講師がよいのかなと思ったこと、長狭学園では暗渠排水の工事が終わり、使い勝手がよくなったこと、等について報告がなされた。
- ・ 佐々木委員から、10月29日に曾呂小の学校訪問があったこと、全体的に落ち着いていたこと、学年により男女の数に偏りがあり苦勞されていたこと、先生にとっても人数の多い学校と少ない学校があることで異動すると大変ではないかと思ったこと、10月30日に安房地区教育委員研修会に参加したこと、11月2日の江見小訪問では1年生の聞く姿勢が大変よく感心したこと、鋸南中学校区の子どもがすごくしっかりした考えで態度もよく発表力もあったこと、世界的に有名な人が来てくれたこと、夢を実現するためには個性を生かすことを話されていたこと、自分たちの学校の先生が友達だったこともよかったこと、夢や希望を持たせ伸ばしていくかが学校の役目ではないか、先生方がいろいろな研修を通して感じたことを生徒に話すことも大切ではないかと感じたこと、戦没者追悼式では遺族の方も年齢を重ね少なくなってきたので開催の仕方でも工夫が必要になってきたと感じたこと、長狭学園では大変活気があり、つくづく統合してよかったと思ったこと、等について報告がなされた。

## 6 教育長報告

- ・ 野田教育長から、曾呂小と江見小、長狭学園の学校訪問があったこと、小さい学校のデメリットや長狭学園の活気のあるグループ学習ができていた様子を見て、やは

り教育委員会の方針が間違っていないと感じたこと、小さい学校の子どもたちは小さな声でも先生に聞こえるが、自ら積極的に発言することが弱くなるのである程度の規模が必要であると思うこと、10月31日に安田耕太さんが全国社会教育委員連合会長賞を受けて市長への表敬訪問があったこと、11月1日に千葉ロッテキャンプのセレモニーがあり、田原小や西条小の高学年児童、田原幼稚園児が参加したこと、11月5日に鴨川中の畑にソラマメの種を植えたこと、地区の方から寄付された畑に技術家庭科の時間の中で栽培していくこと、11月7日に県教育委員の安房特別支援学校鴨川分教室視察があったこと、同一敷地内に普通学校と特別支援学校が一体型として誕生した県内でも初めてのケースということで視察されたこと、その後郷土資料館の横山大観展も参観されたこと、11月9日に鴨川市小中音楽発表会があったこと、市内の小中学生が日頃の練習の成果を十分に発揮していたこと、11月13日にマレーシア観光大使の講演会があったこと、同時通訳をはじめて体験して理解するのに時間がかかったこと、11月16日に学校薬剤師で教育委員も務められた安川正巳さんが瑞宝双光章学校（学校保健功労）を受けて市長を表敬訪問したこと、同じく16日に江見小の存続を求める会から市長へ署名が上がってきたこと、11月19日に学校適正規模検討委員会があり答申が整い、このあとに鈴木美一委員長から佐々木久之教育委員長に答申が手渡される予定となっていること、等について報告がなされた。

#### 【報告に対する質疑】

- ・ 質疑がなく、全員の了承が得られた。

## 7 議 事

### (1) 「平成25年度鴨川市立幼稚園園児募集について」

- ・ 前田学校教育課長より、P10の資料をもとに平成25年度の募集幼稚園児、募集期間、申し込み方法について、特に東条幼稚園児5歳児の預かり保育を実施していくこと等、について説明がなされた。
- ・ 佐々木委員から、今現在地区外から通園している方はどのくらいいるかとの質問があり、前田課長から東条幼稚園は亀田病院があるので地区外から通園している園児はいるが、全体としては後で報告するとの説明があった。
- ・ 村上委員から、一番人口の多い東条幼稚園の預かり保育が十分ではないので、早く市内全域で完全実施できるようにしてほしいとの要望があり、野田教育長から近い将来、東条地区に幼保一元化施設を設置する流れになっているとの説明がなされた。

- ・ その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

## 8 その他

- (1) 各課長から、「12月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 東条幼稚園の預かり保育について、前田学校教育課長から説明がなされた。
- (3) その他、教育委員研修要旨を配布していること、研修参加費が支給されること、明日の安房東中学校公開研究会について説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成24年12月20日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂